

橋本左内先生 150年祭 記念講演会

福井市に生まれ、その優れた先見力で
幕末の激動期に活躍し・多くの志士に影響を
与えた橋本左内先生が亡くなって150年を
迎える。早くより洋学と医学を修め、
15歳で有名な「啓発録」を著した。
藩主松平春嶽公にその学才と見識を認められ、
藩政に参画するが、「安政の大獄」で26歳の
若さで処刑された。

日時 平成20年10月12日(日)
14:00~16:00 (13:30開場)

場所 AOSSA 8階 県民ホール

演題 「橋本左内先生の生涯を仰ぐ」

講師 皇學館大学 学長 伴五十嗣郎氏

入場料 無料 定員500人(先着順)



伴五十嗣郎氏プロフィール

昭和18年、北海道函館市生まれ。同44年皇學館大学大学院修了と共に、福井市立郷土歴史博物館に勤務、「春嶽公記念文庫」「越葵文庫」などの整理に従事しながら、松平春嶽・中根雪江・橋本左内・笠原白翁といった福井の幕末先賢の研究を進めた。その間、同57年に講談社学術文庫から発刊した『啓発録』全訳注本は、これ迄に35版を重ねるロング・セラーとなっている。

同59年皇學館大学助教授、教授を経て、平成15年より皇學館大学の学長に就任し、神道学・神道史を専門とし、神道史学会代表・神社本庁教学顧問などを勤める。著書・論文多数。

■ 主催 橋本左内先生顕彰会 ■ 後援 福井市・福井市教育委員会

お問い合わせは 橋本左内先生顕彰会事務局(福井市生涯学習課内) TEL 0776-20-5361

詳しくは <http://www.city.fukui.lg.jp/d620/syougai/sanai/index.html>